

悩んだ経験を活かして

男女雇用機会均等法が施行されてから20年あまりが過ぎた。女性総合職採用などが話題を呼んだが、仕事を続けた女性ばかりではない。管理職に出世した女性もいる一方、退職した女性も多い。それほど優秀でも、結婚、出産という人生の大事業が、女性の仕事を阻むことも少なくないからだ。女性のためのライフ&キャリア・カウンセリングサービスマス「Your Life & Career」代表の斉藤瑞穂さんも、仕事と出産の狭間で悩んだ経験がある。

「20歳でアメリカ留学をし、大学、大学院と進みました。帰国後は、海外からの駐在員とその家族にリロケーション・サービスマスを提供する会社でコーディネーターとして働き、その後、アメリカの大学の日本校で、学生カウンセラー兼キャリア・カウンセラーとして勤務しました」

そんな充実した日々を送っていた時、斉藤さんは、子どもを持ちたいという悩みを持った。結婚はともかく、出産となれば

長期の休みを免れず、場合によってはキャリアを一時的にでも断念せざるを得ない。

「家族に相談すると、『自分の好きな道を選べばいい』と優しい言葉をかけてもらいました。それはとても幸せなことですが、反面、すべて私自身が決め、責任を果たさなくてはいけないわけです。私たちの親世代は、女性は結婚して専業主婦になるか、結婚を諦めて社会で活躍するかのどちらかを選択することが多かったですよ。現代の女性は、選択肢が増えた分、迷いも多いといえます。私も、数多い選択肢の中で悩み、道を模索しました」

結局、斉藤さんは出産を決定する。その後、第二子妊娠中に再び単身渡米し、カリフォルニア州で行なわれた「キャリア・デベロップメント国際会議 (CDC)」に出席。様々なキャリア・カウンセラーに出会い刺激を受けたという。そして、2004年、自らと同じように悩む女性のために、Your Life & Careerを設立した。

ライフ&キャリア・カウンセリングとは？

代

18

text:Yukiko Sugiyama illustration:Yoshiko Nagao

斉藤さんの場合、まず先に女性の人生を応援したいという気持ちがあり、それを実現する手段としての起業だった。

「この仕事にコミットしようと思っただけでした。私は幼いころから女性のために働きたいという思いがありました。母が仕事を持っていたことも関係があると思いますが……。Your Life & Careerを始めるからには、ミッション性を高く持ってやっていたいこうと決意しました」

セッションは、ウェブでの申し込みから始まる。その後、事前アンケートに答えてもらい、セッションの日時を決める。

「事前アンケートの内容を参考にしながら、その方がフォローカスしているものを確認していきます。ですが、アンケートで答えていただいたコメントと本人のカウンセリングを受けたと思う意図とが違う場合もあるのです。ご本人も気づいていなかった問題が浮上してきます」

キャリアのみならず、結婚、出産、育児、離婚、介護など女性の人生に起こる問題なら、すべて相談に乗るといいます。多方面に精通している必要があるだろう。

「精進の毎日です。この仕事を続けていくためには勉強し続けなければならないと思いますから、それは苦痛とは感じません」

キャリア相談ならハローワークでもできるし、結婚相談所でもできる。しかし、女性の人生を包括的に相談できる場所は少ない。

「マッチング的なものは色々ありますが、皆さん、それでは解決しない問題を抱えています。仕事だけで悩んでいるのでもないし、結婚だけで悩んでいるのでもないのです。すべて含めて、自分の人生設計をどうするかで立ち止まってしまおうのです」

斉藤さんが出産を迷っていた時もそうだった。出産自体に不安があったわけではなく、仕事や家庭を含めての将来について悩んでいたのだ。だからこそ、女性特有の課題など、心理的な問題も含めた相対的なキャリア・カウンセリングのサービスマスを提供しようと思ったという。

アドバイスはしません

斉藤さんはライフキャリア・

カウンセラーである。にもかかわらず、「アドバイスはしません」と言う。いったいどういうことだろうか。

「アドバイスを求めたいという方は多いですが、それでは悩みは解決しません。アドバイスは、あくまでも私の意見であって、ご本人の考えではないのです。私が与えるのでは意味がありません。その人が持っている答えを導き出すことが、私の役割です」

確かにアドバイスは参考にしかならないし、また、アドバイス通りにすることは、他人の敷いたレールを歩むことに他ならない。しかし、「こうしたい」という道が決まっている人に方法論を提供するより、その人の真の欲求を引き出すのは、労力がいる作業だろう。

「セッションを終えると、かなり消耗します。しかし、安易に『こうしたらいい』などと助言するだけでは、悩んでいる人に対して真の意味でのサポートにはなりません」

女性が働くのは当前になったからこそ、どう働くか、働く以外の人生をどう生きるかが重要になってきているということだ。

個別のテーマに対してアドバイスするのではなく、女性の人生を引き受けるようなカウンセリングのあり方は、この仕事にミッシェン性を持って関わっている斉藤さんならではの、きめ細かさを感じられる。

アドバイスを欲しがっている女性が多いのは、日本にキャリア教育がないことも原因しているという。日本では、偏差値で大学や学部を選びがちだ。もちろん、受験に際して偏差値は重視すべきだが、まず「何をやりたいのか」を探すことが先決ではないだろうか。

「アメリカでは、小さな子どもでも、自分の意見を主張することを求められます。常に、『あなたはどう思いますか?』という質問に答えることを要求されるのです。日本の場合、子供が親の言うことや教師の言うことに素直に従うのを良しとする傾向があります。特に女兒はその傾向が強いです。『自分が何をしたいのか分からない』という相談も多いです」

子供の頃から周囲の大人に従順であることを求められていれば、大人になってから自分で判断するのが難しくなるのだろうか。

時 行 苦 業 修 の 私

揺れるのは良いが
ブレるのは良くない

この取材を通して感じたのは、斉藤さんには相手の思いを引き出す力があるということだ。会話の途中、何度も、どちらがインタビューだか分からなくなる瞬間があった。まさに、斉藤さんのカウンセラーとしての才能を垣間見た思いだった。

天職で起業したともいえる斉藤さんだが、これから起業しようとしている人に何かメッセージはあるだろうか。

「何でもよいから起業しようというのでは、壁にぶつかつた時に耐えられないのではないでしょう。自分の核を見つめて、どうしてその事業をやりたいのか明確にすべきです。揺れるのは良いけれど、ブレるのは良くないということですよ」

ブレずに初心を貫くこと、それが大切なのだ。

「これは私の実感でもあるのですが、人はひとりで生きていけないものではありません。特に、仕事と家庭を両立させるためには、周囲の協力が不可欠です。仕事

や人生がうまくいかないのを、会社や家族の責任にしても仕方がありません。自分自身が周囲のサポートを引き出す人になることが先決です。これは、セッションを受けた方にも伝えていますが、起業しようという方にも役立つメッセージではないでしょうか」

斉藤さんは、Your Life & Career 代表兼カウンセラー、妻、母といった八面六臂の活躍を続けながらも、あくまでも穏やかな雰囲気崩さない。周囲の支えがあつてこそ、という謙虚さがそうさせるのかもしれません。

DATA



屋号 | Your Life & Career
業務 | 女性のためのライフ&キャリア・カウンセリング
URL | <http://www.your-life-career.com>
設立 | 2004年9月
代表 | 斉藤瑞穂